

液体窒素利用者 各位

平成 14 年 6 月 11 日

液体窒素の運搬手段について

以前より、液体窒素容器を汲み出し場所から研究室まで運ぶ手段として、乗用車を利用している方がいるようですが、非常に危険ですのでやめて下さい。

乗用車のキャビン内に容器を固定せずにおき、急ブレーキ等により容器が転倒し、容器内の液体窒素が溢れ、運転手、また同乗者にかかった場合には、**凍傷**になるおそれがあります。また、最悪の場合、キャビン内に窒素が充満し、**窒息死**する可能性もあります。

柏キャンパス内で自動車等を利用し容器の運搬を行う場合は、**容器を確実に固定でき、また、キャビンと荷台が明確に仕切られている、もしくはキャビンが大気下にあり確実に作業者の安全が保て、かつ容器を確実に固定できる車**で運搬を行って下さい。その際にはその作業になれている方が必ず作業を行って下さい。

今後、乗用車等で危険な運搬を行っている人を発見した場合には、その**研究室は供給停止**する事もありますのでご了承下さい。



物性研究所 低温液化室

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/> ekika@issp.u-tokyo.ac.jp 内線 63515